

蒲生干潟自然再生全体構想の見直しについて（現状のとりまとめ）

蒲生干潟自然再生協議会運営事務局

1 進捗状況

(1) 協議会での確認事項

令和7年6月7日（土）に開催した第20回蒲生干潟自然再生協議会において、蒲生干潟自然再生全体構想見直しに係るとりまとめの方向性について承諾を得た。主な方向性は以下のとおりである。

- ・震災前後の状況を分けて記載する。
- ・見直しは現構想の現状を要約して示すこととし、詳細は現構想を参照する構成とする。
- ・震災後の取組については、年表等を用いて環境変化がわかるよう整理する。
- ・各専門委員の協力の下、既存の論文や報告書を中心にとりまとめる。

(2) たたき台の作成と意見照会

論文や国・県・市の報告書を参考に見直し案のたたき台を作成し令和7年11月4日付けで委員宛て送付し、意見照会を行った。

その結果、5名の委員から意見及び修正案が提出され、これらを踏まえた修正を行った（別添資料2）。

2 意見・修正案の概要

委員から提出された主な意見及びそれらを踏まえた修正内容の概要は以下のとおりである。

- ・内容に齟齬があるとの指摘を受け、事実関係の確認及び修正を実施
- ・図面及び写真の修正・追加
 - 図表の体裁、大きさ（見やすく拡大）、写真の追加
- ・文言や表記の統一等の体裁修正
 - 西暦（和暦）、河川堤防（防潮堤）、砂州（砂浜）等
- ・震災前のとりまとめについて、過去形表記に修正
- ・重要種関連の修正
 - 最新のRDBに基づく情報への更新、種の追加・修正等

3 とりまとめ方針

- ・上記2の内容を反映した修正を行う（別添資料2）。
- ・図面や写真などは、当初は全体をコンパクトに整理することを目的として小さく配置していたが、外部への発信を意識して、見やすさを重視した構成とする。
- ・写真や図表については、内容の充実を図るため、適宜挿入したいので、委員に提供を依頼する。